

# 飲料水の備蓄の方法



水道水を使った**備蓄水の作り方のポイント**を順番に紹介していきます。

## STEP1 清潔でふたができる容器を用意する (ペットボトルやポリタンク等)

容器内が汚れていると水の中の消毒用塩素がすぐに消失し細菌が繁殖しますので、水道水で何度もよく洗ってください。



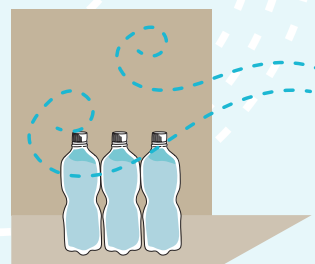
## STEP2 水道水を蛇口から直接容器に入れる

浄水器を通した水、沸騰させた水、井戸水などは消毒用塩素が含まれていないため備蓄には向きません。必ず水道の蛇口から出てくる水を直接入れてください。



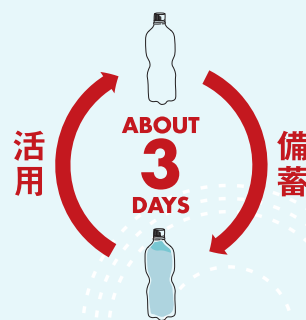
## STEP3 容器は満水にして密閉し、 直射日光の当たらない風通しのよい場所で保管する

容器に空気が残らないよう、水を口いっぱいまで入れてしっかりふたを閉め、日陰の風通しのよい場所で保管してください。



## STEP4 定期的に容器内の水道水を入れ替える

保管中に消毒用塩素が消失し細菌が繁殖するおそれがありますので、3日程度で定期的に入れ替えをお願いします。消毒用塩素は水温が高いときほど早く消失しますので、暑さが続く日は早めに入れ替えるようにしてください。また、取り替えた水は洗濯や庭木の水やりなどに有効に活用しましょう。



市販のペットボトル水などを備蓄する方法もあります。  
※賞味期限等にご注意ください。



### 給水場所から自宅までの運搬手段の確保を！

災害発生時、応急給水場所には水を入れる容器がない場合があります。空のペットボトルなどを用意してください。また、水を入れた容器は重くなります。持ち運びにはリュックサックやキャリーカートなどがあると便利です。

1ℓ = 1kg



### これも重要！生活用水の備蓄

お風呂の水を捨てずに置いておくなど、普段から生活用水の確保に努めましょう。

1回 180ℓ



トイレ



洗い物



初期消火



注意 乳児や幼児のいる家庭では、溜めたお風呂の水で子どもが溺れる危険があるため、おすすめしません。

※地震が発生した直後は、下水管(マンションの場合は上下階の排水設備)が破損しているおそれがあります。破損がないことを確認してから、生活用水の排水を行ってください。